

平成三十年 第十三期くまもと俳句ポスト
第十三期開函

日本伝統俳句協会評議員 井芹 眞一郎 選

特選

復活の鯨しやちのかがやく立夏りっかかな

熊本県熊本市

野崎一雄

【講評】

四月二十八日、地震で落下した熊本城の鯨が二年振りに完成して天守閣に輝き、見物客からは一斉に歓声が上がった。山々には若葉が満ちて明るい夏の到来を感じさせる季節に相応しい「立夏」の季題を生かして作者の前向きな心情がうまく語られている。

わが輩通り賞

いにしへの戦の跡や寒椿

福岡県久留米市

中村英之

入選

冬ざれの語り継がれし田原坂
大阿蘇の風を束ねて野火猛る
水満ちて桜のうつる水前寺

福岡県小郡市
熊本県熊本市
千葉県松戸市

中村美由紀
佐藤誠吾
田中昌子

佳作

風鈴や安政町に八雲立つ
震災地肥後芍薬が癒しけり
街角に小楠の碑や風薫る
紅梅や水前寺富士立上がる
手水舎の新緑掬ふ柄杓かな
田原坂桜に秘むる歴史あり
大観峰雲海望む阿蘇の空
漱石の足あとたどる水前寺
句碑ひとつ釣耕園の青葉闇
漱石居明治を語る夏木立

熊本県熊本市
熊本県熊本市
熊本県熊本市
熊本県熊本市
熊本県熊本市
熊本県熊本市
熊本県熊本市
大阪府豊中市
福岡県北九州市
熊本県熊本市
熊本県熊本市

尾野会厘
林良章
平川礁舎
福原博
鶴田信吾
久光有子
吉田昴平
楠根はるえ
坂口美穂子
山崎綾子

投句総数

二七一句

市外

一三二句

市内

一三九句

開函日

平成三十年六月三十日